

上智大生殺害放火事件から 26 年 父親 思い語る(テレビ朝日系(ANN)) - Yahoo! ニュース

<https://news.yahoo.co.jp/articles/62354c6df07178171354602a7234e09766b7f99a>

26 年前、東京・葛飾区の自宅で上智大学の 21 歳の女子学生が自宅で殺害され、放火されました。女子学生の父親が取材に応じ、事件の風化を懸念する一方で、「まだまだ諦めない」と解決に向けた思いを語りました。

小林順子さんの父・賢二さん(76):「この事件が風化しかかっている、もしかしたら風化しちゃっている。そのことが遺族にとっては本当に残念なことだ」

1996 年 9 月 9 日、上智大学の 4 年生だった小林順子さん(当時 21)が葛飾区の自宅で殺害・放火されました。

警視庁によりますと、これまでに延べ 11 万 4000 人以上が捜査にあたってきました。しかし、事件は未解決のまま、犯人逮捕につながる有力な情報もありません。

小林順子さんの父・賢二さん:「事件から 26 年経てば、世の中から忘れ去られて『解決したんじゃないですか?』とか『犯人が捕まったんじゃないんですか?』っていう方もいる」

順子さんは当時、目前に海外留学を控えていて、事件直前には家族で箱根旅行に行っていました。

小林順子さんの父・賢二さん:「順子も留学が決まってもなくすると家族がバラバラに、これが最後のつもりが本当に最後になってしまった。社会人になり、レディになり、奥様になり、母親になり、順子のそういう姿は想像つかない。いまだに女子大生というイメージ」

9 日、賢二さんは事件現場を訪れ、手を合わせました。

そして、現場近くの柴又駅で情報提供を求めてチラシを配りました。

事件発生からこれまでに警視庁に寄せられた情報は 1600 件を超えていますが、今年に入ってから寄せられた情報は 16 件で、減少傾向が続いています。

解決につながる情報提供者には最大で 800 万円の懸賞金が支払われ、警視庁は「不確実な情報でも提供してほしい」としています。

小林順子さんの父・賢二さん:「私たちも警察も犯人を追い続けているぞ、決して諦めていないぞという気持ちを、犯人の耳に届くように発信し続ける」

テレビ朝日